

みんなが主役 ファミリースポーツ

本町を振興事業モデルの町として熊本県が指定



津奈木
前はろ

体を動かす事、それがスポーツです。自分の健康は体を動かす事で保たれます。体を動かす事は、何もむずかしい事ではありません。



一 体育指導委員会
会長津奈木美孝

聞きなれないことば「ファミリースポーツ」。

つまり家族ぐるみの運動やスポーツ、さらに身近な地域での誰でもできるスポーツ活動のことをいいます。

今まで町民体育祭やいろいろなスポーツ行事に縁がなかった人、忙しくてスポーツなんて...といわれる人、体力づくりの方法がよくわからない人、町民体育祭やいろいろなスポーツ行事に選手として出場している人はもちろん、町民全体がその対象となります。

来ます。

スポーツ、言葉をかえると健康づくりは、毎日続ける事が大切です。どんなに忙しい

毎日少しづつ

げないで取る等、家の中で生活の中で、一人でも出来ます。また簡易ゲームも今後紹介してまいります。

家族で
体力づくりを

今までの社会体育行事からさらに一歩前進、家の中で、



家の中や、座ってでもできます。ビーチ バレーボール

こんならおっどんも
でくっばい

七月八日津奈 水保声

北地区ファミリースポーツ指導者講習会（県教委主催）が開かれ、体育指導委員やスポーツ指導員をはじめ多数の参加のもと、熊商大の古閑先生の講義や新しい種目の紹介や楽しいゲームに歓声があがっていました。ラジオ体操やビーチボールによるバレーそしてフリーテニスなど町内でも紹介していく予定です。



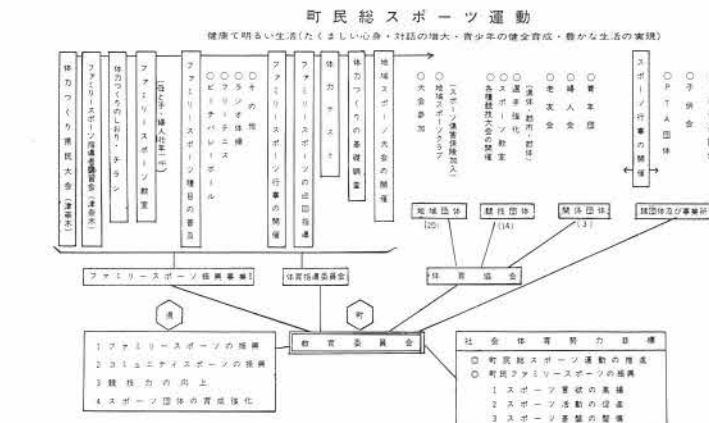
せまい所でできます。フリーテニス



ある日の体育部長会

地域のスポーツ振興の
かなめとしてがんばる体育部長

写真はいずれも七月八日の水保声北地区ファミリースポーツ指導者講習会（県主催）の時のものです。（一枚を除く）



発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話（代表3111）番
編集 編集委員会
印刷所 旭印刷所
電話（水保）④4101番



ラジオ体操第1

卒業記念

津奈木小学校では、昭和五十三年度卒業の六年生五十二名が小川巖先生・友田多真江



▲津奈木小の校歌を彫刻（手作りの卒業記念品）

津奈木町連合婦人会（津奈木校区、平国校区、赤崎校区）では、去る六月の環境週間にちなんで、今年も役場職員の方と合同で国道三号線の空き拾いと、海岸の清掃活動を実施しました。



海をきれいに...婦人会

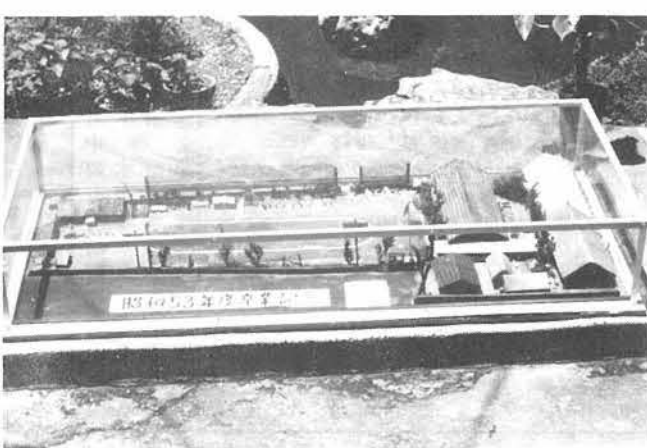


才時記

着ながらに、せんたくしたり夏の雨

ビールうまし百姓髭の唇寄せて

長蛇駭人（天浪）



▲平国小の模型が完成（100分の1）

館にかざりつけられた。平国小学校でも「もうすぐ新校舎が建築されるので、私達が六年間すごした平国小学校の模型を作って、いつまでも残しておきたい」という生徒の発案により、吉永政義先生指導のもとに生徒十三人が実測一〇〇分の一で作成、三ヶ月を費やし完成した。

青年団だより

青年団の交通安全部会では去る六月十三日、町内を広報車で一巡し、交通安全の呼びかけ運動を行いました。

また、班別に別れて、ドライバーが安全かつスムーズに運転ができるように願い、町内道路の各所に設置してあるカーブミラーの清掃を実施いたしました。今後も定期的に



▲カーブミラーを磨く団員

なるほど...!!

うるさい扇風機には油を...
扇風機や換気扇のモーターの音が大きくなり、耳ざわりになったら、注油することをおすすめします。

これで、雑音が防止できるはずですが、雑音が出ていなくても、二ヶ月以上たつたり、しまつたりには必ず注油しましょう。

こうすれば、長持ちしますし、雑音を防ぐことになりま

扇風機にアミをかける!!
幼児はなんにでも触れてみたい性質があるため、扇風機を使うと手を入れる心配があります。

そこで、市販されているナイロンアミを扇風機にかけてみてはどうでしょう。

風の効率は変わりませんが、幼児のために安全です。

うしろの部分にもアミをかけましょう。

お礼

平国下の浜田忠安さんの長男親夫さんは結婚のため一時帰郷されていたが、母校津奈木中学校に、何か心ばかりのお礼がしたいと、ノート二〇〇冊二万七千円相当を寄贈された。中学校でも深く感謝し全職員にはかって、有効に使用したいと思っています。まことに有難うございました。

お礼

優勝種目は次のとおりです。

- 陸上男子
- 陸上女子
- 陸上男女総合
- 柔道
- 女子バレーボール

以上の種目に優勝し、来る九月一日・二日の県総合青年祭に郡代表として出場いたします。特に、柔道は全員二段初段の有段者のため好成績が期待されます。女子バレー部は今年で六年連続県大会に出場いたします。



▲優勝した瞬間。

津奈木町教育委員会関係日曜・祭日行事予定表

月	日	曜	行 事 名	場 所
7	8	日	ファミリースポーツ指導者研修会	津奈木町
15	日	日	芦北郡総合青年祭	津浦町
22	日	日	体協陸上部記録会	津奈木町
29	日	日	町民祭水泳大会	津奈木町
8	5	日	2日～6日国際児童年記念「熊本県少年の船」	沖繩県
12	日	日	郡民体育祭	大口市
19	日	日	11日～12日青年団体キャンプ研修	津奈木町
9	2	日	あおぞら少年団 川の生物学学習会	津奈木町
15	日	日	1日～2日熊本県総合青年祭	津奈木町
24	日	日	津奈木町敬老会	津奈木町
24	日	日	熊本県民体育祭	津奈木町
10	10	日	津奈木町町民体育祭	津奈木町
14	日	日	あおぞら少年団親子オリエンティリング大会	津奈木町
21	日	日	20日～21日津奈木町青年団体リーダー養成研修	津奈木町
28	日	日	体力づくり県民大会	津奈木町
11	3	日	祭日 2日～4日津奈木町文化祭	津奈木町
4	日	日	2日～4日津奈木町文化祭	津奈木町
11	日	日	芦北郡水俣市市民陸上競技大会	津奈木町
18	日	日	あおぞら少年団スケッチ大会	津奈木町
23	日	日	21日～25日芦北郡青年団体国内研修	津奈木町
25	日	日	体協陸上部駅伝大会	津奈木町
12	2	日	体力づくりオリエンティリング大会	津奈木町
9	日	日	ソフトボール協会駅伝大会	津奈木町
16	日	日	郡内青年団駅伝大会	津奈木町
1	13	日	体力づくり新春マラソン大会	津奈木町
3	日	日	三太郎駅伝大会	津奈木町
2	10	日	あおぞら少年団 文芸作成・映画会	津奈木町
10	日	日	町PTA研究集会	津奈木町
10	日	日	都市対抗駅伝大会	津奈木町
3	16	日	あおぞら少年団ボランティア活動	津奈木町

7月1日現在、日曜日、祭日に予定されている町教育委員会関係行事は以上のとおりです。なお、社会教育関係事業はほとんど平日または夜間に開催いたします。(追加、変更はそのつど連絡します。)

津奈木の芸術

(8)



中島治先生の絵 岡松 壮

柄でもないが指名をうけて書くことになった。中島先生の絵にはあまりお目にかかっていない。ある時鶴田前町長宅の座敷にかかっている絵のすばらしさに見て、それが中島先生作と聞いて驚いた。十号ぐらいの大きさだ。昭和三十三年としてあった。当時津奈木中学校の絵の先生で、その後の絵は全

然知らなかった。今月の館報に中島先生を取り上げることにし、それを知って「六車町長に上げた絵」と希望が先生から出たので、拝見してまた驚いた。先生の絵を歌にえがいていたイメーとは似ても似つかぬ変り方であったからである。色の若々しさ、構図の大胆さ、ここに先生のとどまらざる進歩性、とらわれざる勇氣・気魄を見出した。

この前の五月号でこの欄に紹介したのは、鶴野六良さんであったが、六良さんは中島先生の令弟で耳鼻咽喉科のお医者さんである。兄弟揃っての芸術家でもある。

肥後狂句 堀双岳選

嘘、記憶になかちぬすけとる
そらアいかん、早よう病院に行きなせ
拙者

嘘、俺がこの目で見たつたつ
そらアいかん、あア一人の道かいた
双岳

次題
そわそわ、きのきかん、四句以内
八月二十日まで、中央公民館へ

名木紹介



上門バス停留所付近から千代塚方向に向って左側一五〇

名木紹介

木と変りはないが、近付いて見ると回り三、四十程の木の根が這っている。傍に山の神さんが祀ってあり、まるで木の根が屏風で祠を守っているようだ。

木の根は二、三ほどで、その先は右に曲がり天に延びている。曲がった所からさらに根が二、三程のびて地面におりて、そこから杉の木が生えている。言うなれば親子杉であろう。人間の世界でも親子より子供がのびるように、この杉も子供がのびるのびている。

青少年育成
県民総ぐるみ運動

7月1日→8月31日

伸びよう 伸ばそう 青少年
町ぐるみ摘もう非行は芽のうちに

最近、中学生や高校生の盗み、家庭内暴力、家出など子どもたちの非行の構造が社会問題となっている。

熊本県警の統計によれば、少年犯罪の八四％は「盗み」であり、その盗みの三二％が「万引き」という。

この少年万引き犯人の数は五五五人、内、中学、高校生が四〇五人もいたそうである。だが警察に、ナイショで済まされている事件を含めると実際は、この二十倍も三十倍もあるだろうと推定されている。



中、子どもの甘えにこたえられかたに起因する非行、そして社会経済機構の結果としてもたらしたオイルショック以降の非行には、非社会、反社会、反平均身長が、一六〇cmで、から

ただけは、大人並に成長して行に逃げたくない。それに自分の人生だし。

建設的視点

歴史は流れていく、それと共に道徳や習慣といわれるものも変化します。何でも「悪い、悪い」だけでは非建設的

自分の子さへ無事であれば他人の子はどうでもいいという人たちが多くいることは、本当に残念です。万引き少年や売春少女だって同じ人間、まして十分成長しきつていない子供です。特定の行為を除けば、豊かな価値を持った人かもしれない。それを、そこまで考え、切り捨てようとする親の勝手さに、子供の多くは自然と矛盾を感じ、曲がっていくのではないでしょう。同世代の様々な問題や現実を否定するのではなく、親子で話し合い、自ら納得させるような教育をしてほしいと思います。以上それぞれの意見は読者諸君にお任せするとして、青少年問題審議会も、現代の青少年は、連帯感が欠如し、人間不信の増大をもたらしているという位置付け、その克服のために青少年の社会参加の必要性を政府に意見具申している。青少年育成県民総ぐるみ運動を機に町民こそ明日の時代を担うよう青少年の為に最善の方策を考えたい。

古屋の漏り (一)

昔、矢城山の麓に、一軒の農家があった。

或る日、薩摩から来たと言馬買いが、その馬を盗むつもりで、うまの屋根裏にしのび込んで、夜のふけるのを待っていた。

壁越しの部屋では、今夜も

津奈木民話 堀 二雄

でも馬好きで、貧しいながらも、馬だけは、人前でも自慢の出来る青毛の(黒毛のこと)雄馬を持っていたので、村人達は、馬甚馬甚と呼んでいる。

馬甚が、孫に添い寝をしなが、昔、馬を語っているらしい。そのうち孫が、「お爺さん、世の中で一番おもしろいかな、なんじあか」と聞いた。七爺さんは「やっぱこの世

じあ、人間が一番おもしろい。馬買いが、その馬を盗むつもりで、うまの屋根裏にしのび込んで、夜のふけるのを待っていた。人間が盗人が一番おもしろい。人間が盗人が一番おもしろい。人間が盗人が一番おもしろい。

ニッコリ笑った。孫は人間のおもしろさを知らないで、外のおもしろさを聞きだした。「お爺さん、けだものの中で一番おもしろいかな、なんじあか」。

「そらアなんちゅてん、オオカミワロじ」と首をちぢめながら云った。孫も爺さんの胸にすがりつ、その時にうまの隅の方で、フツ、フツ、と笑うものがいた。

これはゴト山に住む、狼で

これ馬を盗んで、食つてやろうと、うまの隅にひそんでいたのが、七爺さんが、けだものの中で、一番おもしろいかな、なんじあか、と聞いて、得意になって、つい笑い声を出してしまつたのだ。

